

事例名：RFIDによる車両検査工程内の車両認識**ユーザ名：自動車メーカー****システム概要**

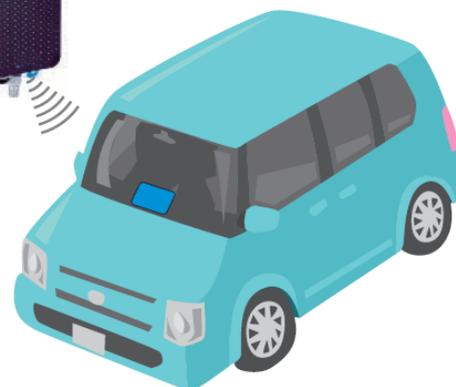
- 検査ラインに車両が入る際に車両IDを書き込んだRFタグをダッシュボードに置く。
- 各検査設備でRFタグを自動で読み取り車両を認識して、仕様に応じた適切な検査を行なう。



ダッシュボードに置かれても
製品に傷をつけない
ソフトな素材を使用したRFタグを使用



車両IDを書き込んだRFタグをダッシュボードに置く



工程ごとに入ってきた車両のRFタグをライン上に設置した
RFIDリーダーで自動読み取り。

※以前は、検査工程でも生産指示用のアクティブタグを使用して車両を認識していたが、生産終了により、2次元シンボルを使用していた。RFID化することで、以前のアクティブタグ同様に自動読み取りが行えるようになった。

事例に関するURL https://k-cr.jp/factoridge/process/vehicle_transportation_management/

お問い合わせ先 小林クリエイト株式会社 自動車推進部 自動車企画課

TEL : 052-231-5172

URL : <https://k-cr.jp/>

導入の背景・課題

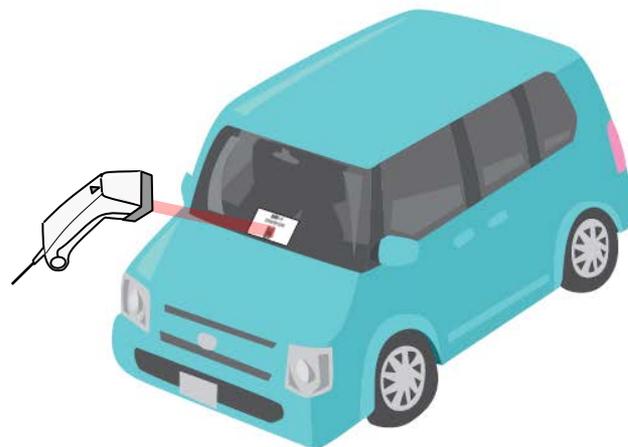
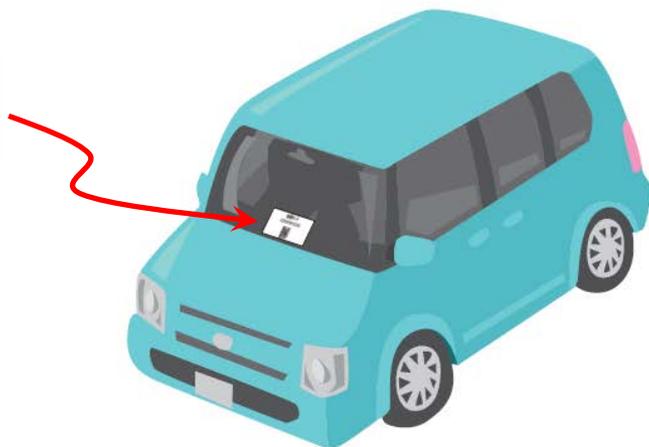
従来の方法

- 検査ラインの各工程で車内に置いた車両カードの2次元シンボルを読み取って車両の仕様に適合した検査を実施している。

課題

検査工程では、車種・仕様により必要な検査が異なったり、手直しなどで順番の入れ替わりが生じるため、検査項目ごとに車両個体を認識するために2次元シンボルの読取りが必要。

各工程で1台ごと室内に置かれた車両カードの2次元シンボルをハンディリーダーで読み取ることが、**手間**となっている。



課題の解決・導入効果

工程毎に必要な検査を実施するための車両 I D の読取りを**人手を掛けずに自動**で行えるようになった。